

山形のニュース

山形 経済

ツイート シェア

スマート社会へ 地域を創る新しい力（１）スイカ生産にＩＣＴ活用（山形・尾花沢）

人口減少や少子高齢化といった課題の解決に向け、情報通信技術（ＩＣＴ）を活用した取り組みが各地で進んでいる。地域の実情に応じて次世代を担う人材を育て、生産性を向上させる新たな手法が注目を集める。河北新報社は「スマート社会へ～地域を創る新しい力～」と題し、東北と新潟の有力紙との８社共同企画としてＩＣＴにスポットを当て、各地の活動と彼らに期待する人々を紹介する。（８回続き）

◎自動操舵トラクター、アシストスーツ…作業負担減 収量アップ

夏スイカの生産量で日本一を誇る尾花沢市の「尾花沢すいか」。糖度が高く、みずみずしく締まっており、しゃりとした食感人気が高く、地域経済を支える柱の一つになっている。一方、生産者の高齢化が進み、重労働の省力化は喫緊の課題だ。

山形県などは２０１９、２０年度、農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」の採択を受け、「スマート農業技術によるすいか生産イノベーションプロジェクト」を展開している。同市内の生産者や農機メーカーなどと連携し、ＩＣＴを活用した作業時間の短縮や生産管理の効率化に関する実証を行った。

挑戦した技術は、熟練度に左右されない圃場準備作業の高能率化、炭疽（たんそ）病発生予測に基づいた効率防除、スマート技術に対応した栽培、出荷予測に基づく有利販売の実践、アシストスーツなどによる労働負担軽減、一元管理ソフトによる営農改善の６項目。１０アール当たりの労働時間を現行の１８０時間から１２０時間まで短縮し、収量を４．８トンから５．４トン以上に拡大する目標を設定した。

スイカ栽培は畝の準備やビニールシートを張ったマルチトンネルの設置など、重労働が多い。自動操舵（そうだ）のトラクターを使うことでさまざまな工程が集約でき、経験が浅くても短時間で作業が可能となる。１０アール当たりの作業時間を１２時間から４時間に短縮するのが目標だ。



自動操舵トラクターによる農業散布のデモンストレーション。水を使って散布の様子が披露された＝７月１４日、尾花沢市・ＪＡみちのく村山尾花沢営農センター

拡大写真



アシストスーツを着用し、スイカを持ち上げる現地検討会の参加者。生産者の負担軽減に向けた活用が期待される＝２０１９年７月１８日、尾花沢市狹袋

拡大写真



拡大写真

河北新報社からのお知らせ

07/16 新型コロナウイルスの感染防止対策のため、2021年3月末まで河北新報印刷センターの見学申し込み受付を休止いたします。



0:33

7:10

札幌 vs 仙台

【New!】今できることプロジェクト
 東日本大震災から10年。2020年度のプロジェクトはWEBサイトをご覧ください

大学特集「学都仙台で学ぼう！」
 大学9校のオープンキャンパス情報や先輩学生の声。仙台圏での生活情報も満載！

河北就職ナビ2020
 新卒・既卒・転職希望の皆さまへ
 宮城・東北の優良企業からのメッセージ

健康みやぎサポーターズ
 みやぎの職場を元気に健康に！健サポフレンズも新規会員募集中

一方、トラクターの走行路を整備することで、栽培面積は従来の７０％ほどになる。収穫量の低下を防ぐには１株から実を結ぶ量を増やす必要があり、つるの伸ばし方を工夫した多収栽培にも挑戦した。１９年度は１０アール当たりの収量が２２％増加し、作業時間は２８％削減された。２０年度は天候不順などで収穫量が思うように伸びず課題を残す結果となったが、作業負担の軽減につながることは示された。

スイカの収穫時期は交配日からの積算温度が目安となっているが、見極めは生産者の経験に頼る部分も多い。最新技術では圃場にあらかじめ交配日を示した目印を立て、小型無人機ドローンで画像を解析することに挑戦した。積算温度のデータと連動させることで収穫期が予測できるようになった。

プロジェクトは本年度で終了するが、今後もスマート技術の研究を進め、２８年までに栽培面積７７７ヘクタール（１６年７２１ヘクタール）、産出額７０億円（同５８億円）、１戸当たりの栽培面積１６０アール（同９０アール）まで拡大することを目指している。

「超えなければいけない技術の壁はあるが、苦労はいつか実を結ぶ」と県の担当者は話す。山形が誇るスイカ産地の発展を目指し、挑戦は続く。

（山形新聞報道部・小田信博）

<東北・新潟８新聞社共同企画>

河北新報社、東奥日報社、岩手日報社、秋田魁新報社、山形新聞社、福島民報社、福島民友新聞社、新潟日報社

■ご意見・ご感想をお寄せください

「スマート社会へ～地域を創る新しい力～」に関するご意見、ご感想をお寄せください。
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒９８０－８６６０ 河北新報メディアセンター「スマート社会へ」係へ。ファックスの場合は０２２（２１１）１４８２、電子メールは mc@po.kahoku.co.jp

関連ページ: [山形](#) [経済](#)

2020年10月04日 日曜日

ツイート

シェア

オンラインオープンキャンパスニュースページ



高校生必見！宮城の大学のオンライン・WEBオープンキャンパス情報サイト

緊急トピックインタビュー

仙台「四方よし」企業大賞

特選不動産情報（毎週金曜日更新）

Job探：仙台・宮城の求人情報

みやぎのいいものご案内！４７ＣＬＵＢ

宮城の赤ちゃんへ贈ります「すくすくぼこ」好評受け付け中！

杜の囲碁サロン

緊急トピックインタビュー

LINEスタンプ「かほピョンとなかまたち」

スマート社会へ（東北・新潟８新聞社共同企画）

宮城県からのお知らせ

とうほく創生Genkiプロジェクト

みやぎ復興情報ポータルサイト

スマイルとうほくプロジェクト

ランキング

-  **せんだい・宮城ＦＣ、昨秋の伊坂映画でＪＦＣア...**
(2020年10月1日)
-  **新型コロナ 仙台で５人感染**
(2020年10月5日)
-  **亘理・山元の生産者がシャインマスカット販売会**
(2020年10月6日)
-  **「歯ブラシの届かない隙間」気になりませんか？...**
(株式会社湖池屋)
-  **「できる限り早く結論」 宮城知事が県美術館移...**
(2020年10月6日)
-  **エアアジア事業廃止、期待の中部線「残念」 仙...**
(2020年10月6日)
-  **「アジア最高の美しい顔ランキング」 Top3...**
(NewSphere)

powered by